

令和6年（2024年）度行政評価シート【個表】

令和6年6月21日

評価対象事業		評価者	青少年課 小林瑞幸	
こども-28	放課後子ども総合プラン等管理運営事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	青少年課
重点事業		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	—
総合計画上の位置付け	分野	子育て	施策の方針	子育て家庭への支援

1 事業の目的

対象	市内に居住する小学生及び乳幼児等
意図	全ての児童が放課後等を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うため。
効果	地域等の協力を得ながら豊かな時間を提供することで、次世代を担う児童の生きる力を育む。待機児童の減少を図る。

2 令和5年(2023年)度に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> 令和5年(2023年)4月1日から放課後かまくらっ子全施設が指定管理施設となった。 放課後かまくらっ子いなむらの新施設整備のため、賃貸借契約を締結した。 令和6年(2024年)3月末をもって、深沢子ども会館を閉館した。 深沢子ども会館の閉館及び放課後かまくらっ子全施設の指定管理への移行に伴い、鎌倉市放課後かまくらっ子統括支援員等設置要綱を鎌倉市放課後かまくらっ子推進事務員等設置要綱に改めた。 民間学童2事業者に対し、放課後児童健全育成事業運営費等補助金を交付した。
--

3 事業を構成する事務事業(最小事業)実績

枝番号	事務事業	実施した主な事業(主な経費等)	指標(単位)	令和5年度		令和6年度	達成度
				指標(実績値/目標値)		指標(目標値)	
				事業費(決算/当初)(千円)		予算額(千円)	
01	放課後かまくらっ子指定管理委託料	年度協定書に基づき、指定管理料の支払い実施。	放課後かまくらっ子登録率	36% / 470,031	39% / 491,769	40% / 511,727	92%
02	子どもの家等賃貸借料	賃貸借契約に基づき、賃借料の支払い実施。	—	- / 46,912	- / 59,451	- / 31,102	
03	放課後かまくらっ子等維持修繕	各施設の修繕を実施。	—	- / 31,579	- / 31,798	- / 15,294	
04	放課後児童クラブ補助事業	放課後児童健全育成事業運営費等補助金を交付。	—	- / 19,967	- / 19,565	- / 20,806	
05	放課後かまくらっ子運営費等	謝礼、光熱水費、電信料、保険料等の支払いを実施。	—	- / 6,910	- / 10,075	- / 11,663	
		財源内訳	国県支出金	137,248 / 157,158		127,406	
			地方債	/			
			その他特定財源	87 / 253		31	
			一般財源	438,064 / 455,247		463,155	
			事業費の合計(千円)	575,399 / 612,658		590,592	
		人件費(千円)			48,582	25,182	

4 この事業に関わる職員数(毎年度4月1日時点)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等	6.0	6.3	5.4	4.5	2.6	
会計年度任用職員	136.0	88.0	54.0	10.0	3.0	

5 評価結果

(1) 最小事業評価

枝番号	事務事業	指標分析の推移、目標未達の理由	上位施策にどう寄与したか、構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	放課後かまくらっ子指定管理委託料	令和5年度からは、全16施設が指定管理者による運営となった。民間事業者のノウハウを活用し、放課後かまくらっ子への登録率を高めていき	民間事業者のノウハウを活用し、サービスの向上を進めている。	—
02	子どもの家等賃貸借料	賃貸借契約に基づき支払いを行っているため指標は設定しない。	放課後かまくらっ子の運営には必要不可欠である。	—
03	放課後かまくらっ子等維持修繕	利用児童の安全を確保するために、施設の維持修繕は必須となるため指標は設定しない。	放課後かまくらっ子の運営には必要不可欠である。	—
04	放課後児童クラブ補助事業	鎌倉市放課後児童健全育成事業運営費等補助金交付要綱に基づき民間学童保育所に補助金を交付しているため、指標は設定しない。	多様なニーズに対応する民間学童保育所の経営に寄与した。	民間学童保育所への補助金の在り方について、事業所とのヒアリングを行いながら見直しを図っていく。
05	放課後かまくらっ子運営費等	放課後かまくらっ子の運営には、光熱水費、電信料、保険料等の支払いは必須であるため指標は設定しない。	放課後かまくらっ子の運営には必要不可欠である。	深沢子ども会館の閉館に伴い、令和6年度は同施設の解体等を行っていく。

(2) 視点別評価

効率性	事業費の削減余地はないか	1 事業費の削減余地はない	
	事業の外部化(民営化・業務委託等)はできないか	1 実施済み	
	関連・類似する事業の統合はできないか	2 統合に向けて検討できる事業がある	
妥当性	各事業の実施に対する市民ニーズはあるか	1 市民ニーズは変わらずにある	
	民間によるサービスで代替できる事業はないか	3 民間によるサービスで代替できる事業はない	
有効性	事業の上位施策に向けた貢献度はどうか	1 目的達成のために適切な手段(最小事業)である	
公平性	受益者負担は公正・公平か	○.負担導入済	○-2 適正な受益者負担を導入している
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	○.協働実施済	○-1 市民等と協働して事業を実施しているが、協働のあり方等の見直しが必要な事業がある
		協働実施済の場合のパートナー	コーディネーター・サポーター・地域人材・大学生等

(3) 総合評価 ※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する

【今後の方針】	<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 改善・変更	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 休止・廃止
すべての児童が放課後等を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動ができる「放課後かまくらっ子」を市内全16小学校区で実施しており、市民の認知度もあがっている。来所者の中には個別の配慮が必要な児童もいることから、引き続き発達支援等に関する研修を行っていくほか、個別対応が可能な支援員の配置や相談体制充実に努めていく。					

【参考】

◎事業実施に係る主な指標

指標(単位)	放課後かまくらっ子登録率(登録者数/全児童数) 4月1日時点 ※指標設定は令和4年度から						単位	%
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
本事業は、すべての就学児童が放課後等を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことを目的としているため	目標値	—	—	38%	39%	40%	41%	
	実績値	34%	37%	33%	36%			
	達成率	—	—	—	—			

指標(単位)	地域人材・大学生等の外部人材と協働したプログラムの実施回数						単位	回/月
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
多世代間・地域と交流を図る拠点としての放課後かまくらっ子を推進していくため	目標値	4回/月	4回/月	4回/月	4回/月	4回/月	4回/月	
	実績値	1回/月	3回/月	4回/月	4回/月			
	達成率	25%	75%	100%	100%			

◎他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	放課後子供教室設置割合(放課後子供教室数 / 公立小学校数)							
団体名	鎌倉市	藤沢市	逗子市	平塚市	茅ヶ崎市	葉山町		
他市実績	16校/16校	3校/35校	5校/5校	2校/29校	19校/19校	未実施		

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	令和2年12月で、平成30年から令和2年度の3か年で、市内全16小学校区全てで放課後子ども総合プラン(放課後かまくらっ子)を実施する計画(市長マニフェスト)を実現させた。放課後子ども総合プランの実施状況については、近隣市に比較すると、充実していると考えている。
----------------------	--